

**総務文教委員会委員長報告（管内視察）**

1.視察日 令和4年5月12日、5月13日

2.視察施設数 17件

3.事務調査結果 下表のとおり

所管課	施設名	質疑内容	答弁内容
学校保育課	大谷保育所	園児数が増えている理由は何か。	津波の非浸水区域であり、耐震工事も済んでいるので、保護者の方に安心して預けていただけるからではないかと考えている。
	元小学校	児童数が9名との説明であったが、今後の統廃合に関する方針について	保育所及び学校適正規模・適正配置基本計画を策定し、その中で小学校は基本的には統合せず、当面の間は検討課題としている。元小学校については、津波の浸水予測が5メートル程度あり、長期にわたって学校の再開が困難になることが想定されるため、室戸小学校への統合を検討すると基本計画に示されている。これから各地域で説明を行い、保護者や地域の方の意見を伺って慎重に進めていきたいと考えている。
	羽根小学校	今年から複式学級も始まり、今後さらに児童数が減少していくとの見通しだが、全学年が複式学級になるのは何年後と予想しているのか。	推計であるが、児童数は令和8年度で29名である。令和8年度の児童数となれば、全学年で複式学級になるのではないかと推定されている。
		津波の心配があるが、高台へ移転するとなれば、どこへ、いつ頃行うという計画はあるのか。	地域や保護者の方へ基本計画の説明を行うとともにご意見・ご要望をお伺いし、判断していきたいと考えている。
	室戸中学校	高台移転は確定しているのか。	高台移転は確定している。基本計画において、まず室戸中学校を津波の来ない場所へ移転し、その後、市内の他の中学校と令和8年4月に統合予定である。
総務課	羽根出張所	文書配達はどのような方が行っているのか。	会計年度任用職員を雇用し、配達していただいている。
		公金の保管方法はどのようにしているのか。	鍵付きの金庫に保管している。

所管課	施設名	質疑内容	答弁内容
消防本部	佐喜浜防災 コミュニティ センター	分団の欠員が2名との説明であつたが、入団の見通しは立っているのか。	現在のところ入団するかどうかというところまでは把握できていない。
	菜生防災 コミュニティ センター	津波対策について	土地自体の海拔は約11メートルで、嵩上げを1.5メートル行っている。浸水域であるが、適地もなく、南海トラフ地震の津波には対応できないと考えている。そのため当施設は、津波以外の災害への対応となる。
		施設周辺にシートを張っているが、規制が解除されるのはいつか。	5年後である。
	羽根防災 コミュニティ センター	他に設備を整備する予定はないのか。	防火水槽等も考慮はしている。
生涯学習課	吉良川公民館	使用料が減免される要件は何か。またその減免額はいくらか。	要件は、室戸市立公民館施設使用料減免要綱で定めており、全額免除となるのは、市及び教育委員会が主催する行事等に使用する場合、室戸市内の保育所や学校が行事等に使用する場合、室戸市内の社会教育関係団体又は公共的団体が主催する行事等に使用する場合である。また、教育委員会が公益上特に必要と認めた場合については、減免後の使用料として1回100円で利用いただいている。
	室戸岬公民館	質疑なし	
	行当教育集会所	今後の建物の利活用についてどのように考えているのか。	基本的には取り壊しの方向で考えているが、地元の要望等も聞きながら対応していきたい。
	勤労者体育センター	トイレを和式から洋式にすることはできないのか。	施設も老朽化しており、トイレも含めた施設内の修繕や改修について、優先度を決めて予算要求を行っていく。
まちづくり推進課	吉良川移住体験 住宅	施設利用料はいくらか。また利用の多い年代は何歳代かについて聞く。	利用料は1日1,020円で、20代から40代の利用が多い。
		ワーケーションだけが目的でも利用可能なのか。	現時点では移住希望者が利用できるようになっており、移住の希望がない方の利用は難しい。
		住宅利用後のアンケートでは、滞在中に住居を探す方が多いとの話だが、この体験住宅をもっと活用してもらい、移住者の増加につながればよいと思う。PRは十分なのか。	住宅の改修後、テレビや新聞等で報道していただき、アピールさせていただいた。今後もPRをしていきたいと考えている。

所管課	施設名	質疑内容	答弁内容
人権啓発課	行当市民館	高齢者が利用するデイサービス事業や地域交流促進事業への集まりが悪いように感じるが、実際参加者数は少なくなっているのか。	教室等は開催しているが、高齢者の方の利用が多いこともあり、ご家族の方がコロナへの感染を心配し、利用を控えられているところがある。
防災対策課	津波救命艇 (丸山長寿園)	丸山長寿園の移転後は民間病院等から要望があれば、移設できるのか。	津波救命艇は市の財産であり、民間からの要望があった場合は協定を締結後、貸与という形式になる。
	中央公園防災倉庫	室戸市内の事業所から発売されているものに10年保存できる深層水があるが、このような水を飲料水として備蓄する考えはあるのか。	金額的なことも含め、今後購入の検討をしていく。
		液体ミルクや生理用品は備蓄されているのか。	今後検討していく。
		食糧品について、消費期限を過ぎると廃棄処分されるので、消費期限到来前に各団体へ配付する等、食糧品の備蓄サイクルは重要であると思う。 現在の管理体制はどのようになっているのか。	消費期限は全て把握している。期間間近ではなく、余裕を持って常会等に配布できるようにしていきたい。
財産管理課	第二大谷団地	新築となった住宅の家賃はどのようになるのか。	家賃の低廉化という制度があり、入居時から新家賃にするのではなく、旧家賃額と新家賃額との差額を6年間で6分の1ずつ加算し、6年目で本来の家賃額を納めていただく。
		第二大谷団地の家賃はいくらか。	今回視察した2号棟については、まだ家賃が確定していないので、先に建築した1号棟で説明すると、家賃区分は8段階あり、一番低い家賃が月額1万4,900円、一番高い家賃で月額12万200円である。
		入居の基準について	決定には至っていないが、課の考えとしては、旧第二大谷団地に入居している2戸について、そのまま転居してもらい、残る10戸については、コンクリートブロック造で耐震性のない住宅や、海岸沿いにある住宅の現入居者に声掛けなどしていきたい。 それでも空き室がある場合は公募により、新たな入居者を決定していきたい。